

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<http://www.intrance.jp/>



イントランス

検索

株式会社 イントランス

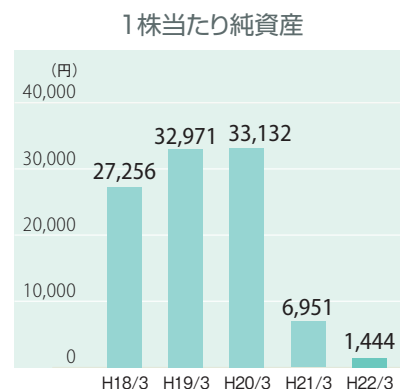
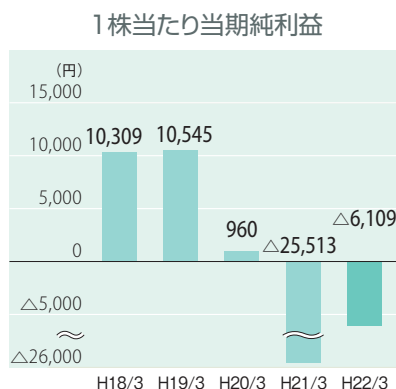
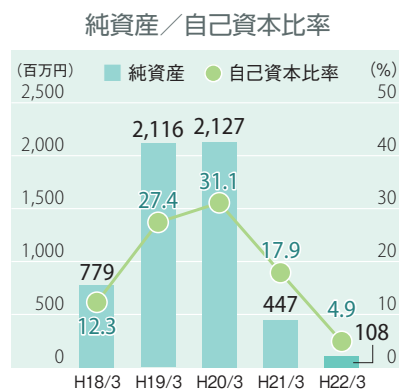
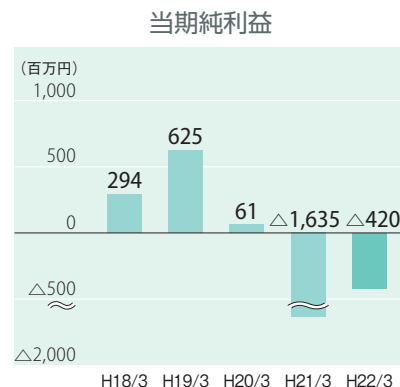
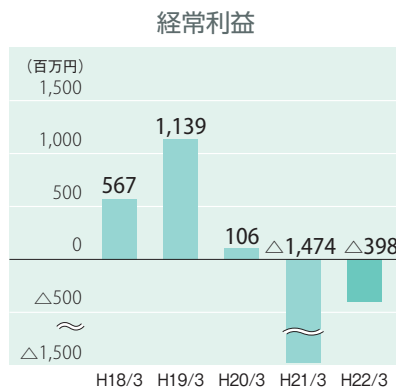
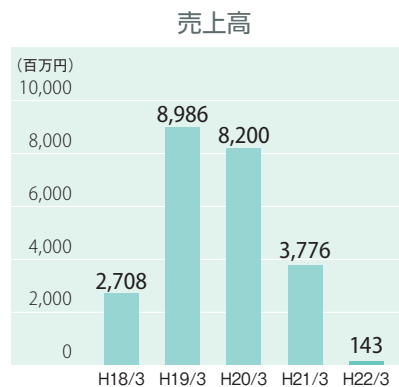
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階 TEL : 03-6803-8100(代表)



第12期 株主通信

平成21年4月1日～平成22年3月31日

株式会社 イントランス | 証券コード:3237



※当社は、平成18年5月31日付で普通株式1株につき2株の株式分割をしております。

財務ハイライト	1	財務諸表	7
株主の皆様へ	2	会社概要／株式の状況	9
ファウンダーインタビュー	3	株主メモ	10
新社長インタビュー	5		

新経営体制のもとで安定した事業基盤と財務基盤の構築に取り組みます。



代表取締役社長
麻生 正紀

ファウンダー
上島 規男

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第12回定時株主総会終了後の取締役会におきまして、顧問の麻生正紀が代表取締役社長に就任し、また代表取締役社長の上島規男がファウンダーとなることを決議いたしました。

当社は、平成21年3月期、平成22年3月期と2期連続の当期純損失を計上し、また、現預金残高も減少が続くなど、非常に厳しい経営状況にございました。このような状況を打開し、財務基盤の健全化と強化を図るため、平成22年5月に第三者割当増資による資金調達を行いました。

「100年に一度」と言われた世界経済の急速な悪化は、世界中の様々な分野において構造的な変化をもたらしていますが、当社はこれらの変化を再出発のための好機ととらえ、新しい経営体制の下で役員・社員の力を結集し、全社一丸となって安定した事業基盤と財務基盤の構築に取り組んでまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成22年6月

創業者の立場から当社の成長・発展を見守ってまいります。

退任ご挨拶

社長在任期間中は株主の皆様のご指導、温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、任期満了に伴い取締役を退任し、創業者を意味するファウンダーとなりました。今後は当社の経営からは離れますが、当社の成長・発展を陰ながら見守ることで創業者としての責任を果たしてまいります。

ファウンダー 上島 規男



1 第12期(平成22年3月期)事業報告について

Q1 第12期の業績と取り組みについてお聞かせください。

当事業年度の売上高は143,220千円(前年同期比96.2%減)、経常損失は398,943千円(前年同期は経常損失1,474,028千円)、当期純損失は420,308千円(前年同期は当期純損失1,635,499千円)となりました。

当社は、事業法人や個人投資家のニーズに適した比較的小規模で良質な物件への取り組みと売買仲介業務等のフィービジネスに鋭意注力するとともに、役員報酬の減額や人員の削減、本社事

務所の移転等による固定費の圧縮に努めるなど、収益基盤を確立しつつ、支出を抑える取り組みをしてまいりました。

しかしながら、売買仲介業務における成果が徐々に見られたものの、不動産再生事業において物件の取得・売却には至らず、また、販売用不動産について125,473千円のたな卸資産評価損を計上するなど2期連続の赤字となりました。株主の皆様のご期待に応えることができず、大変申し訳なく思っております。

2 増資及び麻生新社長就任について

Q2 第三者割当増資の発表の際、社長が交代されるということで、大変驚きました。今回の増資及び麻生新社長就任の経緯について、お聞かせください。

平成21年3月期に、継続企業の前提に関する注記をすることを取締役会で決議してから、非常に厳しい経営状況が続き、資金調達が喫緊の課題となっていました。

親密な取引先を通じて麻生正紀氏の紹介を受け、今後の当社の事業戦略を理解した上で、当社の経営方針を尊重し、経営再建と企業価値の向上を並行して行える人物であるということで平成22年4月27日に第三者割当増資を引き受けていただくことになりました。

麻生新社長は、平成13年1月から株式会社東京証券取引所第二部上場の上毛燃糸株式会社(現: 価値開発株式会社)の代表取締役社長に就任し、16期ぶりに黒字転換させるなど優れた経営能力を備えており、当社の再建に相応しい人物であると考えられることから、再度当社を成長軌道に乗せ、株主の皆様のご期待

に十分に応えてくれるものと信じています。

不動産業界はこの2年間で大きく変化している状況であり、事業モデルの再構築が不可欠の状況といえます。第三者割当増資による財務基盤の強化と新たな経営体制に刷新することが会社を存続させ、企業価値向上にもつながると考えました。

3 株主の皆様へのメッセージ

Q3 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

ワンルームマンションの賃貸仲介から事業を始め、社名の由来である「知恵」、「信用」、「忍耐」をモットーに全力で走り抜けた12年間ありがとうございました。

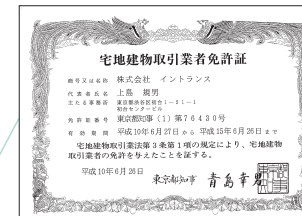
私の在任期間中に復配をすることができなかったことは、株主の皆様非常に申し訳なく、無念である、と申し上げるほかございません。

引き続き皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願いいたしまして、社長退任の挨拶とさせていただきます。

沿革



- 平成10年5月 ● …… 株式会社イントランスを設立
- 平成10年6月 ● …… 宅地建物取引業者免許(東京都知事免許(1)第76430号)を取得
- 平成13年1月 ● …… プリンシパルインベストメント事業第1号案件を成約
- 平成14年12月 ● …… 賃貸管理事業を開始
- 平成17年12月 ● …… プロパティマネジメント事業を開始
- 平成18年3月 ● …… コンサル事業第1号案件を成約
- 平成18年12月 ● …… 東京証券取引所マザーズに上場
- 平成19年5月 ● …… 宅地建物取引業者免許(国土交通大臣免許(1)第7500号)を取得
- 平成20年2月 ● …… 第二種金融商品取引業者(関東財務局長(金商)第1732号)の登録



財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 平成22年3月31日現在	前事業年度 平成21年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	2,038,971	2,400,977
固定資産	32,302	83,160
有形固定資産	10,200	17,353
無形固定資産	4,640	5,984
投資その他の資産	17,462	59,822
資産合計	2,071,273	2,484,138
(負債の部)		
流動負債	1,120,149	1,136,218
固定負債	843,000	900,000
負債合計	1,963,149	2,036,218
(純資産の部)		
株主資本	101,727	444,171
資本金	625,057	586,125
資本剰余金	395,057	356,125
利益剰余金	△915,911	△495,602
自己株式	△2,476	△2,476
新株予約権	6,396	3,748
純資産合計	108,124	447,919
負債純資産合計	2,071,273	2,484,138

POINT ① 資産合計

流動資産は現金及び預金が370,042千円減少したこと等により、前期末に比べ362,006千円減少し2,038,971千円となりました。
 固定資産は本社事務所移転により新本社事務所の敷金16,231千円を差し入れたものの、旧本社事務所の敷金55,019千円を回収したことにより、前期末に比べ50,857千円減少し32,302千円となりました。
 この結果、資産合計は前期末に比べ412,864千円減少し2,071,273千円となりました。

POINT ② 負債合計

流動負債は未払金が123,193千円増加したものの、前事業年度分の確定消費税73,692千円を納付したこと、および1年内返済予定の長期借入金のうち45,000千円を返済したことにより、前期末に比べ16,069千円減少し1,120,149千円となりました。
 固定負債は長期借入金のうち57,000千円を返済したことにより、前期末に比べ57,000千円減少し843,000千円となりました。
 この結果、負債合計は前期末に比べ73,069千円減少し1,963,149千円となりました。

POINT ③ 純資産合計

第三者割当による新株式発行について77,864千円の払込があったものの、当期純損失420,308千円を計上したことにより、前期末に比べ339,795千円減少し108,124千円となりました。

※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当事業年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前事業年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	143,220	3,776,809
売上原価	227,345	4,541,509
売上総利益	△84,124	△764,700
販売費及び一般管理費	268,851	609,541
営業利益	△352,976	△1,374,242
営業外収益	266	2,129
営業外費用	46,233	101,916
経常利益	△398,943	△1,474,028
特別損失	20,400	5,221
税引前当期純利益	△419,344	△1,479,250
法人税、住民税及び事業税	1,425	2,112
法人税等還付税額	△460	—
法人税等調整額	—	154,136
当期純利益	△420,308	△1,635,499

※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成21年3月31日残高	586,125	356,125	△495,602	△2,476	444,171	3,748	447,919
事業年度中の変動額							
新株の発行	38,932	38,932			77,864		77,864
当期純損失(△)			△420,308		△420,308		△420,308
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						2,648	2,648
事業年度中の変動額合計	38,932	38,932	△420,308	—	△342,443	2,648	△339,795
平成22年3月31日残高	625,057	395,057	△915,911	△2,476	101,727	6,396	108,124

※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当事業年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前事業年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△369,631	1,513,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,941	△18,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,353	△2,644,158
現金及び現金同等物の増減額	△378,042	△1,149,566
現金及び現金同等物の期首残高	588,357	1,737,923
現金及び現金同等物の期末残高	210,315	588,357

※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

POINT ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

本社事務所移転により新本社事務所の敷金の支出が16,231千円あったものの、旧本社事務所等の敷金58,262千円を回収したこと等により、投資活動の結果得られた資金は28,941千円となりました。

POINT ⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

第三者割当による新株式発行による収入が76,962千円あったものの、長期借入金のうち102,000千円を返済したことにより、財務活動の結果使用した資金は37,353千円となりました。

会社概要

会社概要 (平成22年6月24日現在)

商号	株式会社イントランス
代表	麻生 正紀
設立	平成10年5月1日
所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階
資本金	9億3,049万7千円
事業内容	プリンシパルインベストメント事業 ソリューション事業
宅建物取引業者免許番号	国土交通大臣(1)第7500号
第二種金融商品取引業者登録番号	関東財務局長(金商)第1732号

役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役社長	麻生 正紀
取締役	濱谷 雄二
取締役	太田 孝昭
常勤監査役	伊藤 雄司
監査役	山田 俊昭
監査役	青沼 丈二

株式の状況

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

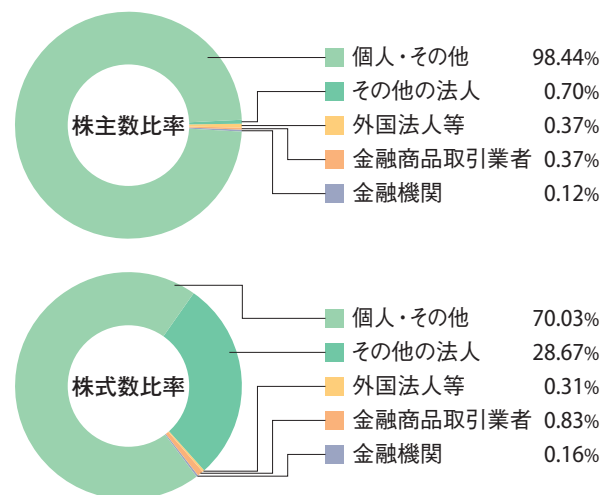
株式情報

発行可能株式総数	256,800株
発行済株式の総数	70,403株 (自己株式302株を除く)
株主数	2,431名

発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する大株主

株主名	所有株式数(株)	議決権比率(%)
上島 規男	26,118	37.10
有限会社レアリア・インベストメント	19,000	26.99

株式分布状況



※「個人・その他」は自己株式を含んでおります。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日

3月31日

定時株主総会

毎事業年度終了後3ヶ月以内

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

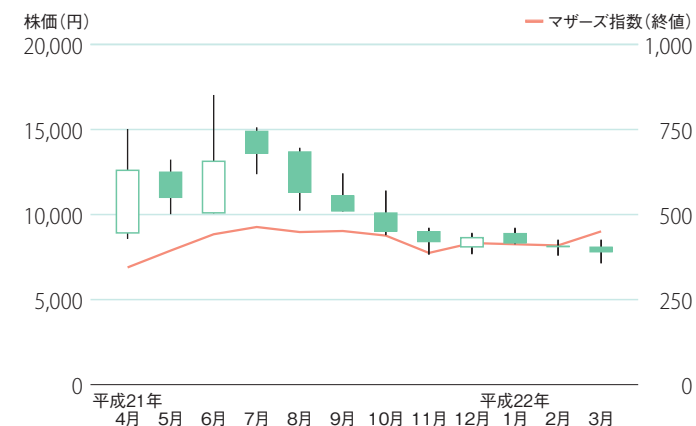
公告の方法

公告掲載URL

<http://www.intrance.jp/ir/public.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむをえない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告致します。)

株価の推移状況



出来高の推移状況

